3. 予算及び事業の経営方針

(1)平成18年度の予算の概要 業務の予定量

区分	水道事業	工業用水道事業
給水戸数及び給水事業件数	12,200 戸	7ヶ所
年 間 総 給 水 量	4,635,500?	15,147,500 ?
一日平均給水量	12,700 ?	41,500?
十两九海凯山白東兴	上水道拡張改良事業	
主要な建設改良事業	86,600 千円	

収益的収入及び支出

	区分	水 道 事 業	工業用水道事業
ЧΣ	事業収益(A)	592,157 千円	358,678 千円
	営業収益	563,831 千円	358,489 千円
入	営業外収益	28,325 千円	188 千円
	特別利益	1 千円	1 千円
	事業費(B)	566,491 千円	590,695 千円
支	営業費用	500,577 千円	380,663 千円
	営業外費用	65,113 千円	209,831 千円
出	特別損失	501 千円	1 千円
	予備費	300 千円	200 千円
差引	額(A)-(B)	25,666 千円	232,017 千円

資本的収入及び支出

(単位:千円)

	区 分	水 道 事 業	工業用水道事業
収	資本的収入(A)	4,734	616
入	負担金	4,723	616
X	固定資産売却代金	11	0
支	資本的支出(B)	442,264	295,769
	建設改良費	86,950	0
	企業債償還金	55,014	294,769
出	他会計貸付金	300,000	0
	予備費	300	1,000
差引不	足額(A) - (B)	437,530	295,153

区分	水道事業	工業用水道事業
補てん額	437,530	295,153
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	4,123	0
過年度分損益勘定留保資金	329,637	0
当年度分損益勘定留保資金	103,770	295,153

(2) 平成 18 年度事業の経営方針

今年度も水道事業会計及び工業用水道事業会計におきまして,公営企業の経営原則である経済性,公共性のバランスを図りながら,企業の経営健全化と供給の安定,円滑化をはかるよう努力してまいります。

水道事業につきましては,送配水施設の整備拡充,老朽配水管の改良を進めます。 また給水人口の減少や,景気の低迷の影響及び節水意識の定着により,使用水量が 年々減少しているなかで,安全で良質な水の安定供給を図りながら,経費の節減等に よる経営の健全化に努め,より効果的に利益を出すよう努めます。

工業用水道事業につきましても,より安定した水の供給確保を行い,本市の産業経済の活性化に寄与するとともに,経営の健全化に努めます。